

2020年6月17日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリック コメント回答 掲載日	承認日	(参考)他の安全性 の確認状況		
		隔離ほ場 での試験 等	栽培	食用	飼料 用	観賞 用			食品安全 性(食品 衛生法)	飼料安全 性(飼料 安全法)	
セイヨウナタネ	長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草 剤耐性セイヨウナタネ (D6E(Pp), D5D(Tc), D6D(Ot), D6E(Tp), D12D(Ps), O3D(Pir), O3D(Pi), D4D(Tc), D4D(Pi), D5E(Ot), AHAS(At), Brassica napus L.) (LBFLFK, OECD UI: BPS-BFLFK-2) 【BASFジャパン株式会社】	○					2020年6月 17日 (回答は こちらから)	2020年6月17日	-	-	
ワタ/ピマワタ	除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性 ワタ/ピマワタ (改変 dmo, bar, 改変 cp4 epsps, Gossypium hirsutum L./Gossypium barbadense L.)(MON88701 × MON88913, OECD UI: MON-88701-3 × MON-88913-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○					○	○
トウモロコシ	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及び グルホシネート耐性トウモロコシ(改変 cp4 epsps, pat, 改変 aad-1, Zea mays subsp. mays (L.) lltis) (NK603 × T25 × DAS40278, OECD UI: MON-00603-6 × ACS- ZM003-2 × DAS-40278-9)並びに当該トウモロコシの分 離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承 認を受けたものを除く。) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】		○	○	○					○	○
セイヨウナタネ	除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネ (改変 dmo, Brassica napus L.)(MON94100, OECD UI: MON-94100 -2) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○								-	-
ダイズ	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダ イズ(改変 cry1F, 改変 cry1Ac, pat, Glycine max (L.) Merr.)(DAS81419, OECD UI: DAS-81419-2) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】			○	○					○	○

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「-」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統については親系統で安全性を確認しております

参考1: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(<https://www.biodic.go.jp/bch/>)から検索できます。

参考2: これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらからご覧下さい。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>